

昭和十九年六月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海防艦 五百島 (イホシマ) (舊艦名寧海)

海防艦 八十島 (ヤソシマ) (舊艦名平海)

達第百七十七號

明治四十四年達第十五號 (海軍艦政本部等ニ製圖工場ヲ置ク等ノ件) 中左ノ通改正ス

昭和十九年六月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「及海軍航空本部」ヲ、「海軍航空本部及海軍電波本部」ニ、「職工」ヲ「工具」ニ改メ「當該製造費」ノ下ニ「又ハ研究費」ヲ加フ

(諸例則卷一、一三四頁參照)

達第百七十八號

海軍會計規程中左ノ通改正ス

達

三八五

0440

昭和十九年六月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表第四(甲)歳入徴收官收入官吏並收入取扱區分表中海軍療品廠長ノ項ヲ左ノ如ク改ム

第一海軍療品廠長 第一海軍療品廠部員タル主計科士官 第一海軍療品廠ノ收入

別表第四(乙)支出官、同代理官並各廳經費取扱區分表中海軍療品廠長ノ項ヲ左ノ如ク改ム

第一海軍療品廠長 第一海軍療品廠會計部長 第一療品廠 第一海軍療品廠ノ支拂ニ要スル經費

附則

本達ハ昭和十九年四月二十二日ヨリ之ヲ適用ス

達第百七十九號

海軍兵備品會計規程中左ノ通改正ス

昭和十九年六月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表中秘密水路圖誌、秘密航空圖誌、普通水路圖誌及普通航空圖誌ノ項出納命令官及會計官吏ノ欄

中 水路部總務部長 ※總務部部員

ヲ

水路部第一部長 ※第一一部第一課長

ニ改ム

0441

達第百八十號

海軍病院練習部規則中左ノ通改正ス

昭和十九年六月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十一條第二號中「又ハ理學的診療」ヲ、「理學的診療又ハ衛生試驗治療品取扱」ニ改ム

第十五條中「高等科看護術練習生又ハ特修科看護術練習生」ヲ「練習生」ニ改メ同條ニ左ノ但書ヲ

加フ

但シ普通科看護術練習生ヲ免ズル場合ニ於テハ事由ヲ具シ在籍鎮守府司令長官ノ認許ヲ受クルモ
ノトス

達第百八十一號

昭和十八年度及昭和十九年度ニ於テ建造ニ着手ノ驅逐艦三隻、潜水艦二隻及海防艦九隻ニ左ノ通命
名ス

昭和十九年六月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

達

三八七

0442

株式會社藤永田造船所ニ於テ建造

驅逐艦 杉 (スギ)

第三十六號海防艦

海四十號海防艦

舞鶴海軍工廠ニ於テ建造

驅逐艦 楨 (マキ)

第六十一號海防艦

横須賀海軍工廠ニ於テ建造

驅逐艦 樅 (モミ)

伊號第三百七十二潛水艦

吳海軍工廠ニ於テ建造

伊號第四百四潛水艦

日立造船株式會社ニ於テ建造

海防艦 大 東 (ダイトウ)

0443

達第七十九號ノ二

海軍工作學校規則左ノ通改正ス

昭和十九年六月一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍工作學校規則

第一條 横須賀海軍工作學校及沼津海軍工作學校ハ左ノ各號ニ依リ海軍工作學校令第一條第二項ニ規定スル事項ヲ分擔スルモノトス

一 横須賀海軍工作學校

工作（飛行機及築城施設ニ關スルモノヲ除ク）及潜水ノ研究實驗及其ノ教育ノ規畫ニ關スル研究調査

二 沼津海軍工作學校

工作（飛行機及築城施設ニ關スルモノ）ノ研究實驗及其ノ教育ノ規畫ニ關スル研究調査

第二條 横須賀海軍工作學校及沼津海軍工作學校ハ工作術ノ教授及研究、實驗ニ關シ互ニ連絡ヲ密ニシ工作術ノ完全ナル融合發達ヲ圖ルベシ

達

三八七ノ二

0444

第三條 校長ハ教務規程其ノ他執務ニ關スル細則ヲ設ケ横須賀鎮守府司令長官ノ認可ヲ得テ之ヲ實施スベシ但シ教務規程ニ關シテハ之ヲ認可スルニ先チ海軍大臣ノ承認ヲ得ルヲ要ス

第四條 海軍工作學校ノ紀律ハ軍艦ノ例ニ準ズ

第五條 海軍工作學校職員海軍工作學校令第六條ノ規定ニ依リ校長ノ職務ヲ代理シタルトキハ代理者ハ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第六條 校長ハ教頭ヲシテ軍艦ノ例ニ準ジ海軍工作學校勤務ノ下士官及兵並ニ練習生ヲ統率セシムベシ

第七條 校長ハ工作術ノ事ニ關シテハ第一條ニ定ムル擔當區分ニ依リ海軍各部ト連絡ヲ保チ研究部長以下ヲシテ之ガ研究、實驗及調査ニ從事セシメ左ノ事項ニ關シテハ各其ノ擔當區分ニ從ヒ案ヲ具シ直接海軍大臣ニ提出スベシ但シ第二號及第三號ニ關スル事項ハ提出ニ先チ横須賀海軍工作學校及沼津海軍工作學校ノ合同研究ヲ經ルヲ要ス

- 一 工作術ニ關スル訓練規則ニ依リ諸作業ノ實施成績ニ關スル所見及翌年度ノ計畫上必要ト認ムル事項
- 二 工作術ニ關シ研究及實驗シ得タル事項中特に必要ト認ムルモノ

三 操式教範等又ハ工作術教育ノ規畫ニ關シ改正又ハ制定ヲ要スト認ムル事項

四 工作術年報、教育彙報、參考資料等

第八條 校長ハ工作術ノ事ニ關シ第一條ノ擔當區分ニ依リ艦船部隊其ノ他各部ヨリノ質疑ニ應ズルコトヲ得

第九條 校長ハ學生又ハ練習生ノ終業期ニ於テ教官ヲ會同シ教育ノ經過、成績及進歩並ニ學生又ハ練習生ニ關スル事項ヲ考查シ之ガ記録ヲ整理保存スベシ

第十條 校長ハ學生及練習生ノ終業期ニ於テ其ノ卒業成績ニ意見ヲ附シ學生ニ在リテハ海軍大臣ニ、練習生ニ在リテハ横須賀鎮守府司令長官ニ進達スベシ

練習生ノ卒業成績順序ハ何人中ノ何番ナル乎句ヲ用ヒ之ヲ本人ノ考課調査表ニ記入スベシ

特務士官及准士官學生ノ卒業成績表並ニ練習生ノ學業考課表及卒業成績表ハ各其ノ在籍ノ鎮守府別ニ依リ之ヲ當該鎮守府司令長官ニ提出又ハ送付スベシ

第十一條 校長ハ毎教育年度ニ於ケル教育報告二通ヲ調製シ十二月二十日迄ニ横須賀鎮守府司令長官ニ提出シ横須賀鎮守府司令長官ハ之ニ意見ヲ附シ一通ヲ海軍大臣ニ進達スベシ

第十二條 海軍工作學校高等科學生ノ召募ハ海軍大臣之ヲ告達ス

達

三八七ノ四

0446

第十三條 所轄長ハ海軍工作學校高等科學生召募ノ告達アリタル場合ニ於テ部下海軍大尉又ハ中尉中海軍工作學校令第十七條ノ規定ニ該當スト認メタル者アリタルトキハ海軍工作學校高等科學生候補者トシテ其ノ名簿(別表第二)ヲ所屬長官ニ提出シ所屬長官適當ト認メタルトキハ之ヲ海軍大臣ニ進達スベシ

第十四條 海軍大臣必要ト認ムルトキハ海軍工作學校高等科學生候補者ニ相當ノ考試ヲ行ハシム此ノ場合ニ於テハ海軍大臣ハ海軍工作學校高等科學生候補者名簿ヲ直接横須賀海軍工作學校長ニ付シ横須賀海軍工作學校長ハ考試問題ヲ祕封シ各所轄長ニ之ヲ送付シ所轄長ハ考試ヲ行ヒ其ノ答解書ヲ横須賀海軍工作學校長ニ送付ス横須賀海軍工作學校長ハ之ヲ調査シ成績表ヲ直接海軍大臣ニ進達スベシ

前項ノ考試ハ各地同日ニ行ヒ其ノ期日ハ考試問題ノ封筒ニ之ヲ記スルモノトス若シ特別ノ事情ニ依リ其ノ期日ニ考試ヲ行フコト能ハザルトキハ所轄長ハ問題漏洩ノ虞ナキ限り其ノ期日ニ拘ラズ考試ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ事情ヲ横須賀海軍工作學校長ニ通知スベシ

第十五條 海軍工作學校高等科學生及海軍工作學校普通科學生ハ横須賀海軍工作學校ニ入校スルモノトス横須賀海軍工作學校長ハ別ニ定ムル期間本學生ヲ沼津海軍工作學校ニ派遣修學セシムベシ

第十六條 海軍工作學校令第十九條ノ規定ニ依リ特修科學生タランコトヲ志願スル者ハ兵科佐尉官ニ在リテハ海軍大臣ニ、兵科特務士官及工作科准士官ニ在リテハ在籍鎮守府司令長官ニ各順序ヲ經テ願書ヲ差出スベシ

第十七條 兵科特務士官及工作科准士官ヲ横須賀海軍工作學校又ハ沼津海軍工作學校ノ特修科學生ニ採用スベキ員數及時期ハ海軍大臣之ヲ告達ス

鎮守府司令長官ハ前項ノ告達ニ從ヒ前條ノ出願者中ヨリ選抜シタル者及其ノ鎮守府在籍ノ兵科特務士官及工作科准士官ニシテ特ニ工作術ヲ修習セシムル必要アリト認メタルモノニ横須賀海軍工作學校又ハ沼津海軍工作學校特修科學生ヲ命ズベシ

第十八條 校長ハ兵科特務士官及工作科准士官タル特修科學生ヲ卒業セシムルトキハ各其ノ在籍鎮守府司令長官ニ報告又ハ通知スベシ

第十九條 學生ニシテ傷痍、疾病其ノ他ノ事故ニ因リ同期學生ト共ニ卒業セシムルコト能ハザルモノハ適宜ノ期間其ノ卒業ヲ延期セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ校長ハ其ノ期間ヲ定メ海軍大臣ノ認許ヲ受クベシ

第二十條 臨時講習ヲ行ハントスルトキハ講習科目及期限ヲ定メ講習員ノ召集ト共ニ海軍大臣之ヲ

達

三八七ノ六

0448

達

告達ス

講習終リタルトキハ校長ハ講習報告ヲ海軍大臣ニ提出スベシ

第二十一條 練習生ヲ左ノ三種ニ區別ス

一 普通科工作術練習生

二 専修科工作術練習生

三 高等科工作術練習生

第二十二條 練習生ハ左ノ區分ニ依リ其ノ一ヲ専修セシム

普通科工作術練習生及高等科工作術練習生

横須賀海軍工作學校		沼津海軍工作學校	
一 鍛冶	二 機械	一 鍛冶	二 機械
三 仕上	四 板金	三 仕上	四 航空板金
五 熔接	六 鑄造	五 航空熔接	六 鑄造

三八七ノ七

0449

七 摸 型
八 舟 艇

七 航空 木具
八 舟 艇
九 施設 機械
十 築城 土木
十一 築城 建築

専修科工作術練習生

一 特定工業

二 特定工作業務

第二十三條 普通科工作術練習生ハ志願兵タル工作兵又ハ徵兵タル工作兵ニシテ海兵團ニ於テ所定ノ教育ヲ修了シタルモノヲ採用ス

第二十四條 専修科工作術練習生ハ海軍二等工作兵曹又ハ海軍工作兵長ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノノ中ヨリ之ヲ選拔ス

一 品行方正ナル者

二 特ニ必要ト認ムル工業及工作業務ヲ専修セシムルニ適當ナル性能及學力ヲ有スト認ムル者

三 横須賀海軍工作學校専修科工作術練習生ニ在リテハ横須賀海軍工作學校普通科練習生教程ヲ

達

三八七ノ八

0450

卒業シタル日ヨリ一年以上勤務ニ服シ其ノ特技章ヲ有スル者

四 沼津海軍工作學校専修科工作術練習生ニ在リテハ沼津海軍工作學校普通科工作術練習生教程ヲ卒業シタル日ヨリ一年以上勤務ニ服シ其ノ特技章ヲ有スル者

第二十五條 高等科工作術練習生ハ海軍一等工作兵曹ニシテ進級實役停年ヲ有セザルモノ及海軍二等工作兵曹又ハ海軍工作兵長ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノノ中ヨリ之ヲ選抜ス

一 品行方正ナル者

二 重要工作業務及工作術ニ關スル要務ヲ執ラシムルニ適當ナル性能及學力ヲ有スト認ムル者

三 横須賀海軍工作學校高等科工作術練習生ニ在リテハ横須賀海軍工作學校普通科工作術練習生教程ヲ卒業シタル日ヨリ一年以上勤務ニ服シ其ノ特技章ヲ有スル者

四 沼津海軍工作學校高等科工作術練習生ニ在リテハ沼津海軍工作學校普通科工作術練習生教程ヲ卒業シタル日ヨリ一年以上勤務ニ服シ其ノ特技章ヲ有スル者

第二十六條 練習生ニ採用スベキ員數ハ普通科工作術練習生及高等科工作術練習生ニ在リテハ各専修別ニ、専修科工作術練習生ニ在リテハ指定工業及業務別ニ鎖守府毎ニ區分シ毎年二月一日以前ニ於テ海軍大臣之ヲ告達ス

0451

第二十七條 横須賀鎮守府司令長官ハ前條ノ旨達ニ基キ翌會計年度ニ於ケル練習生ノ採用ヲ便宜一
回又ハ數回ニ分チ其ノ出入豫定期日ヲ二月末日迄ニ海軍大臣ニ報告スベシ學生ノ豫定期日亦之ニ
準ズ

第二十八條 普通科工作術練習生ヲ採用スルニハ横須賀鎮守府司令長官ハ前條ノ入校期日其ノ他必
要ナル事項ヲ他ノ鎮守府司令長官ニ通知スベシ

鎮守府司令長官ハ前項ノ通知ニ從ヒ志願兵タル工作兵ニ對シテハ海兵團長ヲシテ所定ノ教育ヲ施
シタル後出發前更ニ身體検査ヲ行ハシメ合格者ハ修業成績表及徵募ノ際ニ於ケル學力試験成績及
適性検査成績表ヲ添ヘ又徵兵タル工作兵ニ對シテハ横須賀海軍工作學校長ノ送付セル試験問題ニ
依リ其ノ指定期日ニ於テ學力試験及適性検査ヲ行ヒ海兵團長ヲシテ所定ノ教育ヲ施シタル後出發
前更ニ身體検査ヲ行ハシメ合格者ハ修業成績表、學力試験成績及適性検査成績表ヲ添ヘ之ヲ横須
賀海軍工作學校普通科工作術練習生ニ在リテハ横須賀海軍工作學校長ニ、沼津海軍工作學校普通
科工作術練習生ニ在リテハ沼津海軍工作學校長ニ通知シ期日内ニ入校セシムルモノトス

第二十九條 專修科工作術練習生又ハ高等科工作術練習生ヲ採用スルニハ横須賀鎮守府司令長官ハ
第二十六條ノ採用員數、候補者選出期限、入校期日其ノ他必要ナル事項ヲ他ノ鎮守府司令長官ニ

達

三八七ノ一〇

0452

通知スベシ

鎮守府司令長官ハ前項ノ通知ニ從ヒ艦船部隊其ノ他各部（當該鎮守府在籍下士官及兵ノ勤務スルモノニ在リテハ其ノ所屬ノ如何ヲ問ハズ以下之ニ同シ）ノ長ヲシテ練習生志願者ニ就キ身體検査ヲ行ヒ横須賀海軍工作學校練習生ニ在リテハ横須賀海軍工作學校長ノ、沼津海軍工作學校練習生ニ在リテハ沼津海軍工作學校長ノ送付セル試験問題ニ依リ其ノ指定期日ニ於テ學力試験ヲ行ヒ專修科工作術練習生ニ在リテハ第二十四條、高等科工作術練習生ニ在リテハ第二十五條ニ該當スル者ヲ選抜シ所見表（別表第一）ヲ附シ選出期限内ニ鎮守府司令長官ニ報告セシメ鎮守府司令長官ハ更ニ選拔ヲ行ヒ所見表ト共ニ其ノ採用人名及所屬ヲ横須賀海軍工作學校長又ハ沼津海軍工作學校長ニ通知シ艦船部隊其ノ他各部ノ長ヲシテ期日内ニ入校セシム艦船部隊其ノ他各部ノ長ハ其ノ出發前ニ於テ更ニ身體検査ヲ行ヒ不合格者アルトキハ之ヲ在籍ノ鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ補缺採用ノ手續ヲ行フモノトス

第三十條 普通科工作術練習生入校シタルトキハ校長ハ所要ニ從ヒ第二十八條ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル新兵修業成績、學力試験成績及適性検査成績ニ鑑ミ專修セシムベキ工業ノ種別ヲ指定シ之ヲ在籍ノ鎮守府司令長官ニ報告又ハ通報スベシ

0453

第三十一條 練習生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ校長之ヲ免ジ理由ヲ附シ各其ノ在籍鎮守府ノ海兵團ニ入團セシメ且之ヲ各其ノ前所屬ノ艦船部隊其ノ他各部ノ長及在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ通知シ横須賀鎮守府司令長官ニ報告スベシ

一 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ卒業ノ見込ナキ者

二 修業成績不良ニシテ卒業ノ見込ナキ者

三 勤務怠慢品行不正ニシテ練習生タルニ不適當ト認ムル者

四 前各號ノ外練習生タルニ不適當ト認ムル者

第三十二條 練習生ニシテ前條ノ規定ニ該當スルコトナク同期ノ練習生ト共ニ卒業セシムルコト能ハザルモノアルトキハ校長ハ同種ノ次期練習生ニ編入スルカ又ハ次期練習生卒業期迄ノ範圍ニ於テ適宜之ガ修業期間ヲ延長スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ校長ハ之ヲ在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ通知シ横須賀鎮守府司令長官ニ報告スベシ

第三十三條 練習生卒業シタルトキハ在籍ノ鎮守府司令長官ノ指示スル艦船部隊其ノ他ノ各部ニ轉勤セシムルモノトス

第三十四條 第三十一條又ハ前條ノ規定ニ依リ艦船部隊其ノ他ノ各部ニ轉勤セシムベキ者又ハ在籍

達

三八七ノ一二

0454

鎮守府ノ海兵團ニ入團セシムベキ者ニシテ事故アリテ出發セシムルコト能ハザルトキハ最寄ノ海兵團ニ入團セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ各共ノ所屬ノ艦船部隊其ノ他各部ノ長及在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ通知スベシ

第三十五條 所轄長ハ海軍特修兵令第六條ノ規定ニ依リ特技章ヲ褫奪シタルトキハ之ヲ本人在籍ノ鎮守府司令長官ニ報告又ハ通報スルト同時ニ横須賀海軍工作學校長又ハ沼津海軍工作學校長ニ通知スベシ

第三十六條 海軍工作學校學生及練習生ハ校内ニ起臥セシメ臨時講習科ヲ履修スル者ハ通學又ハ校内ニ起臥セシム但シ學生ハ狀況ニ依リ通學セシムルコトヲ得

第三十七條 校長ハ海軍各學校學生又ハ練習生ニシテ本校ニ於テ修學スルモノアルトキハ其ノ修學ヲ終リタル後成績ヲ各共ノ所屬學校長ニ通報スベシ

第三十八條 毎年八月一日ヨリ八月三十一日迄ヲ夏季休業トシ十二月二十一日ヨリ翌年一月九日迄ヲ冬季休業トス但シ校長ハ教務ノ都合ニ依リ横須賀鎮守府司令長官ノ認可ヲ得テ此ノ時期ヲ多少伸縮變更スルコトヲ得

第三十九條 學生及練習生ノ修業期間ヲ左ノ如ク種別ス但シ時宜ニ依リ多少伸縮セシムルコトアル

0455

一	高等科學生	一年
二	普通科學生	三月
三	特修科學生	六月乃至一年
四	専攻科學生	六月乃至一年
五	普通科工作術練習生	一年以内
六	専修科工作術練習生	九月以内
七	高等科工作術練習生	九月以内

第四十條 戦時又ハ事變ニ際シ必要ト認ムルトキハ海軍大臣ハ練習生ノ教育ヲ中止シ之ヲ退學セシムルコトアルベシ

附 則

本達ハ昭和十九年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本達施行ノ際従前ノ規定ニ依リ横須賀海軍工作學校ニ於テ現ニ修業中ノ普通科工作術練習生ハ之ヲ本達ニ依ル横須賀海軍工作學校普通科工作術練習生トス

達

三八七ノ一四

0456

従前ノ規定ニ依リ高等科工作術練習生、専修科工作術練習生及普通科工作術練習生教程卒業ノ者ニシテ其ノ特技章ヲ有スルモノ又ハ准士官進級ノ際其ノ特技章ヲ有シタルモノハ之ヲ本達ニ依ル横須賀海軍工作學校ノ各當該練習生教程ヲ卒業シタルモノト看做ス

當分ノ間沼津海軍工作學校専修科工作術練習生及高等科工作術練習生ハ第二十四條第四號及第二十五條第四號ノ規定ニ拘ラズ横須賀海軍工作學校普通科工作術練習生教程ヲ卒業シタル日ヨリ一年以上勤務ニ服シ其ノ特技章ヲ有スル者ノ中ヨリ之ヲ選拔スルコトヲ得

當分ノ間沼津海軍工作學校高等科工作術練習生中航空木具ヲ専修セシムベキ者ハ横須賀海軍工作學校普通科工作術練習生ノ模型(一部ハ舟艇)ヲ専修シタル者ヨリ之ヲ採用スルコトヲ得

本達施行ノ際従前ノ規定ニ依リ採用豫定ノ横須賀海軍工作學校専修科工作術練習生及高等科工作術練習生竝ニ教育中ノ横須賀海軍工作學校普通科工作術練習生ノ専修別ハ第二十二條ノ規定ニ拘ラズ仍従前ノ例ニ依ル

(別表二葉添)

0457

(別表第一)

第 期		工 科			術 作			鍛 冶 専 修		練 習 生 候 補 者 所 見 表		所 轄 名		(軍 長 兼 門)
選 拔	順 序	身 體 (官 査 印)	練 習 生 (新 兵 年 月 卒 業 日 及 其 ノ 成 績)	勤 務 日 數	試 験 成 績	分 隊 長 又 ハ 分 隊 長 職 務 執 行 者 所 見	所 科 所 見	所 轄 所 見	昭 和 年 月 日	艦 長	某	(内ハ記註例ヲ示)	(艦 長	某
(2/10ノ如ク)	志 望 者 數	身 長	(最近卒業ノモノニ付左例ノ如ク) 記入ス。 (八、五、一〇、六〇期普工) (仕上工業) 2/10	(専修科練習生及高等科練習生ニ在リテハ普通科練習生教課程卒業) 以後ノ勤務日數ヲ記入ス	(各試験科目毎ニ百分比ヲ記入ス)	勤 務	(評語ヲ以テ記入ス)	性 行	現 任 職 務	現 任 官 階	志 望 順 序	年 齢	氏 名	官 職
試験施行ノ練習生ニ在リテハ受験者自數ヲ記入ス	試驗施行ノ練習生ニ在リテハ受験者自數ヲ記入ス				成 績 定	現 現 配	賞 罰	同 數	任 用 停 年	任 用 停 年	同 數	當 該 期 算 入 數 ヲ 記入ス	學 前 入 籍 歴	番 入 籍 號
					(最近三回ノ成績ヲ記入ス)	(現 現 配 以 外 二 適 任 下 認 ム ル 配 置 ア ル ト キ ハ 其 ノ 旨 附 記 ス)	(罰ハ朱書ス)	志 望 順 序	任 用 停 年	任 用 停 年	同 數	當 該 期 算 入 數 ヲ 記入ス	學 前 入 籍 歴	番 入 籍 號

所見ハ海軍考課表規準ニ準ジ記入

(昭和十九年達第七十九號ノ二)

0458

(別表第二)

海軍工作學校高等科學生候補者名簿

(昭和十九年達第百七十九號ノ二)

(所 轄 名)

現官任命年月日	現職	官等	氏名	身 體
	「提出當時 ノモノヲ記 ス」	同 上		「既往一年間ニ引込 ルニ要スル一一般所 見ヲ記シシノ程度 其ノ他シ タルニ關スル一一般 所見ヲ記シシノ程 度其ノ他シ

0459

三菱重工業株式會社神戸造船所ニ於テ建造

第五十一號海防艦

川崎重工業株式會社ニ於テ建

第三十八號海防艦

第四十六號海防艦

三菱重工業株式會社長崎造船所ニ於テ建造

第四十二號海防艦

第四十四號海防艦

達第百八十二號

海軍療品廠工務規則左ノ通定ム

昭和十九年六月六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍療品廠工務規則

第一章 總則

達

三八九

0460

第一條 本則ハ海軍療品廠ニ於ケル工務ニ關スルコトヲ規定ス但シ雇員、傭人及工員ニ關スルコト其ノ他別段ノ定アル事項ニ付テハ各其ノ規定ニ依ル

第二條 海軍療品廠長（以下單ニ廠長ト稱ス）ハ本則ノ施行細則ヲ定メ所屬長官ノ認可ヲ受クベシ所屬長官前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ之ヲ海軍大臣ニ報告スベシ

第二章 部内區分

第三條 廠長ハ各部内ノ區分、名稱及處理事項區分ヲ定メ海軍大臣ニ報告スベシ

第三章 事業

第四條 廠長事業ニ關スル訓令、通牒等ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ事業命令ヲ發シ事業ニ着手セシムベシ

第五條 廠長ハ海軍部外ヨリ治療品又ハ其ノ材料品ニ付左ノ生産ノ依頼ヲ受ケタルトキハ豫算ノ範圍内ニ於テ之ニ應ズルコトヲ得

一 部外ニ於テ施行シ難キ事由アルモノ

二 已ムヲ得ザル事由アリテ受託ヲ必要ト認ムルモノ

第六條 廠長前條ニ規定スル生産ノ依頼ニシテ所要經費千圓以上ノモノナルトキハ豫メ所屬長官ノ

0461

認可ヲ受クルト共ニ速ニ其ノ旨海軍省醫務局長ニ通報スベシ

前項ノ事業終了シタルトキハ廠長ハ經過ノ概要ヲ所屬長官ニ報告スルト共ニ海軍省醫務局長ニ通報スベシ

第七條 第五條ノ場合ニ於テ要シタル費用ハ廠長ノ定ムル所ニ依リ依頼者ヲシテ之ヲ支辨セシム但シ旅費ハ海軍内國旅費規則、海軍南洋群島關東州滿洲旅費規則又ハ海軍外國旅費規則ニ依リ之ヲ計算ス

第八條 材料物品及機械器具ヲ直接外國ヨリ購入セントスルトキハ廠長ハ材料物品ニ在リテハ規格、機械器具ニ在リテハ仕様書ヲ添附シ海軍省醫務局長ヲ經テ海軍艦政本部長又ハ海軍航空本部長ニ之ヲ請求スベシ

前項ノ物件到着シタルトキハ廠長ハ検査ヲ行ヒ其ノ狀況ヲ海軍省醫務局長及購入ヲ請求シタル所ニ從ヒ海軍艦政本部長又ハ海軍航空本部長ニ通報スベシ

第四章 施設

第九條 海軍療品廠ニ於ケル土地、建物及工作物ニ關シテハ海軍施設工務規則ニ依ル

第十條 廠長ハ左ノ圖面及目錄ヲ備ヘ置クベシ

達

三九一

0462

- 一 土地、建物及工作物ノ位置圖
 - 二 主ナル機械器具配置圖
 - 三 防火關係施設ノ配備圖
 - 四 土地、建物及工作物目錄(様式第一)
 - 五 主ナル機械器具目錄(様式第二)
- 前項第一號ニ掲グル工作物中諸管裝置(水道、瓦斯等)、電路裝置、暖房裝置、照明裝置等ニシテ其ノ位置圖ニ記入シ難キモノハ系統圖ニ依リ之ヲ表示スルモノトス
- 第十一條 海軍療品廠ニ屬スル機械及重要ナル器具ニハ部毎ニ區別シテ公稱番號ヲ附シ其ノ名稱ト共ニ之ヲ表示スベシ
- 第十二條 廠長ハ主ナル機械器具ノ新設、改造若ハ廢却又ハ工作物ノ新設若ハ修繕ヲ爲サントスルトキハ其ノ設計ノ要領、位置圖及豫定經費調書ヲ添ヘ海軍大臣ノ認可ヲ受クベシ
- 前項ノ工事竣工シタルトキハ廠長ハ之ヲ海軍省醫務局長ニ通報(様式第三(甲)、(乙))スベシ
- 第十三條 捲揚機(附屬物ヲ含ム)其ノ他重量物運搬用機械器具ハ起重機試験検査及取扱規則ニ依リ試験検査ヲ施行スベシ

0463

第十四條 蒸氣機關及内火機關ハ艦船造修規則ニ準ジ試験検査ヲ施行スベシ

第十五條 壓縮瓦斯又ハ液化瓦斯ヲ充填スル容器ハ昭和十一年内務省令第二十三號壓縮瓦斯及液化瓦斯取締法施行令ニ依リ試験検査ヲ施行スベシ

前項ニ規定スル以外ノ氣蓄器其ノ他高壓高溫機械器具ハ別ニ定ムル所ニ依リ試験検査ヲ施行スベシ

第十六條 電氣工作物ハ昭和七年遞信省令第五十三號電氣工作物規程ニ準ジ試験検査ヲ施行スベシ

第十七條 廠長ハ工作物及機械器具ニ付本章ニ規定スルモノノ外之ガ整備及保存ノ方法ヲ定ムベシ

第十八條 廠長ハ第十三條乃至第十六條ニ規定スル試験検査ヲ施行シタルトキハ施行年月日、成績其ノ他必要ナル事項ヲ記録ニ留メ保存スベシ

第五章 危害豫防及衛生

第十九條 廠長ハ危害豫防ノ爲適當ナル設備ヲ爲シ又ハ方法ヲ定ムベシ

第二十條 廠長ハ工場衛生ニ關シ適當ナル設備ヲ爲シ又ハ方法ヲ定ムベシ

第六章 保安及取締

第二十一條 廠長ハ構内ノ保安及取締ニ關スル規程ヲ定メ所屬長官ノ認可ヲ受クベシ

達

三九三

0464

第二十二條 廠長ハ防火、警戒、防衛、燈火管制、荒天準備其ノ他必要ト認ムル部署ヲ定メ所屬長官ノ認可ヲ受クベシ

第二十三條 廠長ハ構内及運輸交通ノ取締ニ關スル規程ヲ定メ所屬長官ノ認可ヲ受クベシ

第七章 機密保持

第二十四條 廠長ハ工場及建物ノ機密區分ヲ定ムベシ

第二十五條 廠長ハ觀覽者ノ取扱等ニ關スル規程ヲ定メ所屬長官ノ認可ヲ受クベシ

第二十六條 廠長ハ前二條ニ規定スルモノノ外必要ニ應ジ機密保持ノ爲適當ナル設備ヲ爲シ又ハ方法ヲ定ムベシ

第八章 報告及通報

第二十七條 廠長ハ毎年三月三十一日現在ニ付第十條ノ規定ニ依ル圖面及目錄ヲ謄寫シ五月三十一日迄ニ海軍省醫務局長ニ之ヲ送付スベシ但シ前年送付ノモノト差異ナキモノハ其ノ旨通報シ當該圖面及目錄ハ別ニ送付スルコトヲ要セズ

建物及工作物ニシテ將來建設又ハ据附ノ計畫ノ確定シタルモノハ之ヲ圖面及目錄ニ掲ゲ其ノ旨附記スベシ

0465

第二十八條 廠長ハ毎月製品受拂月報ヲ調製シ翌月十五日迄ニ所屬長官ニ報告シ海軍省醫務局長ニ
通報スベシ

第二十九條 廠長ハ事業ノ概要ニ付九月三十日及三月三十一日迄ノ分ヲ翌月末迄ニ、前年度分ヲ五
月三十一日迄ニ海軍大臣及所屬長官ニ報告スベシ

附則

本達ハ昭和十九年四月二十二日ヨリ之ヲ適用ス

(別紙様式四葉添)

達

三九五

0466

様式第一

(昭和十九年逓第百八十二號)

土地、建物、工作物目録

件名番號

廳

名

所屬部名								昭和 年 月 日 調		
番 號	名 稱	構造材料	面 積				建築費	竣工年月日	記 事	
			地 階	一 階	二 階	計				

0467

備 考

1. 番號ハ施設工務廳ノ定ムル番號ヲ記載スルモノトス
2. 構造材料ハ圍柱及屋根ノ材料ヲ別記シ又起重機等ノ有無ヲ示スモノトス
3. 面積ハ平方メートルヲ以テ表示スルモノトス
4. 建築費ハ國有財産名簿ニ登録ノモノニ符合スル價格ヲ記載スルモノトス
5. 記事ニハ建物ノ現在狀態其ノ他必要ナル事項ヲ記載スルモノトス

様式第二

(昭和十九年逓第百八十二號)

主ナル機械器具目錄

件名番號

應 名

所 屬 部 名				昭 和 年 月 日 調												
公稱 番號	品名	主要 寸法 能力	製造 所名	購入又ハ 製造竣工 年月日	使用開始 年月日	年度内 使用時數	保 存 期 限	價 格					用 途	年度内修 理ノ概況	記 事	
								原價	運賃	關稅	保險 料	摺附 費				計
	合計															

0468

備 考

1. 機械名ハ機械標準用語ニ依リ之ヲ記載スルモノトス
2. 主要寸法ハメートル法ニ依ルモノトス
3. 記事ニハ機械ノ現在狀態其ノ他必要ナル事項ヲ記載スルモノトス

様式第三(甲)

(昭和十九年達第百八十二號)

主ナル工作物、機械新設明細書

件名番號

應 名

所屬部名				昭和 年 月 日 調						
品名	箇數	主要寸法能力	概定保存期限	据附工場名	價格			用途	現在同一工場備付同一目的ノ機械數量	理由
					價格	据附費	計			
合計										

0469

備考

1. 機械名ハ機械標準用語ニ依リ之ヲ記載スルモノトス
2. 主要寸法ノ單位ハメートル法ニ依ルモノトス

様式第三(乙)

(昭和十九年達第百八十二號)

主ナル工作物、機械改造(廢却)明細書

件名番號

廳

名

所屬部名											昭和	年	月	日	調
公稱 番號	品名	主要寸 法能力	据附 工場名	製 造 所 名	購入又ハ 製造竣工 年月日	使用開始 年月日	價 格 (運賃關稅保 險料据附費 ヲ含ム)	改造(廢却) 所用豫算額	同一工場備 付同一目的 ノ機械數量	理 由					
	合 計														

0470

備 考

1. 機械名ハ機械標準用語ニ依リ之ヲ記載スルモノトス
2. 主要寸法ハメートル法ニ依ルモノトス

達第百八十三號

海軍徵備船船員給與規則中左ノ通改正ス

昭和十九年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二表ヲ別表ノ如ク改ム

附則

本達ハ昭和十九年六月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

(別表一葉添)

参照 海軍機密會計法規類集一三〇ノ七頁

達第百八十四號

昭和九年達第百五十號中左ノ通改正ス

昭和十九年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一號第三項ヲ左ノ如ク改ム

達

三九七

0471

航空服官等識別章ノ制式ハ士官、候補生及見習尉官ニ在リテハ軍衣袖章ニ、准士官ニ在リテハ軍衣襟章ニ、下士官及兵ニ在リテハ官職區別章ニ、文官ニ在リテハ從軍服襟章ニ同シ但シ其ノ品質、寸法ハ左表ニ依ル

區分	品	質	寸	法
士官 候補生 見習尉官		臺地褐青色布、線黃絹織出、	寸法圖ノ如シ	
准士官	同		右	
下士官、兵	官職區別章ニ同シ			
文官	文官從軍服襟章ニ同シ			

附則

従前ノ規定ニ依ル航空服官等識別章ハ當分ノ内仍之ヲ用フルコトヲ得

(別圖添)

0472

參照 昭和九年達百五十號ハ海軍軍人軍屬ニシテ航空又ハ作業服着用ノ場合之ニ附スル官等識別章ノ制式等ノ件（諸例則卷四、九二頁）

達第百八十五號

艦管需品定額表中左ノ通改正ス

昭和十九年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

飛行長 主管（其ノ一）

區別	類別	番號	供給區分	品名	數稱	摘要	記事
改正	備品	一四	三	航空機用水筒 甲	個	航空機搭乗員用	品名改正
同	同	二四	四	乙	個	航空機操縱員用	同

達第百八十六號

昭和十八年達第二百八十四號中左ノ通改正ス

達

三九九

0473

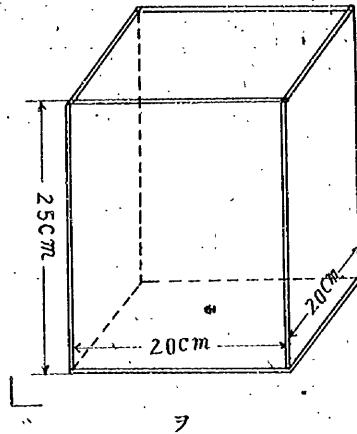
達

四〇〇

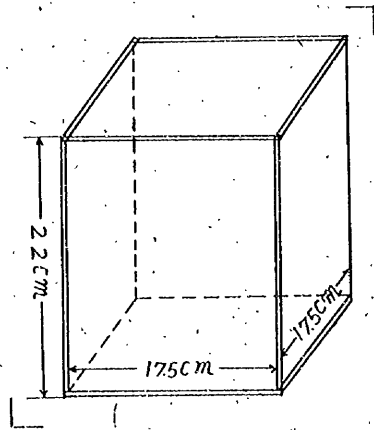
昭和十九年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別紙第二中



ヲ



ニ改ム

参考 昭和十八年達第百八十四號ハ大東亞戰爭中戦歿者等身上取扱規則ナリ

達第百八十七號

昭和十七年達第百四十四號ハ之ヲ廢止ス



0474

本達ハ昭和十九年三月二十日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 (昭和十七年達第四百四十四號ハ大阪警備府警備区内ニ於ケル建築及土木工事ノ實施並ニ國有財産ノ整理及取扱ニ關シテハ海軍建築部處務規程第二條及第三條ノ規定ニ拘ラズ與海軍建築部ノ所掌トナス件ナリ)

達第百八十八號

海軍工員臨時給與規則中左ノ通改正ス

昭和十九年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三條ノ二中「死亡ノ日又ハ死亡判明ノ日」ヲ「死亡公表ノ日」ニ、「死亡判明」ヲ「死亡公表」ニ改ム
第四條第二項中「海軍大臣ノ認許ヲ受ケ」ヲ削ル

附則

本達ハ昭和十九年四月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

参照 海軍機密會計法規類集一五一頁

達

四〇一

0475

達第百八十九號

昭和十八年及昭和十九年度ニ於テ建造ニ着手ノ驅潛特務艇二十隻ニ左ノ通命名ス

昭和十九年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

株式會社山西造船鐵工所ニ於テ建造

第百九十六號驅潛特務艇

第百九十七號驅潛特務艇

市川造航所ニ於テ建造

第百九十七號驅潛特務艇

第百九十八號驅潛特務艇

株式會社四國船渠工業所ニ於テ建造

第百九十八號驅潛特務艇

第百九十九號驅潛特務艇

有限會社福島造船鐵工所ニ於テ建造

0476

第九十九號驅潛特務艇

林兼重工業株式會社ニ於テ建造

第一百號驅潛特務艇

第一百一號驅潛特務艇

村上造船所ニ於テ建造

第一百二號驅潛特務艇

株式會社船矢造船鐵工所ニ於テ建造

第一百三號驅潛特務艇

株式會社米子造船所ニ於テ建造

第一百四號驅潛特務艇

株式會社自念造船鐵工所ニ於テ建造

第一百五號驅潛特務艇

株式會社強力造船所ニ於テ建造

第一百六號驅潛特務艇

達

四〇三

0477

達

四〇四

福岡造船鐵工株式會社ニ於テ建造

第二百七號驅潛特務艇

株式會社三保造船所ニ於テ建造

第二百八號驅潛特務艇

株式會社小柳造船所ニ於テ建造

第二百九號驅潛特務艇

株式會社佐賀造船鐵工所ニ於テ建造

第二百十號驅潛特務艇

西井造船所ニ於テ建造

第二百十一號驅潛特務艇

德島合同造船株式會社ニ於テ建造

第二百十五號驅潛特務艇

達第九十號

海軍共濟組合員タル軍需省航空兵器總局所屬職員ノ組合事務處理ニ關スル件左ノ通定ム

0478

昭和十九年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一條 海軍共済組合員タル軍需省航空兵器總局所屬職員ハ海軍共済組合規則ノ適用ニ付テハ之ヲ海軍部内ノ従前ノ所屬應ニ引續キ所屬スル職員ト看做ス

第二條 前條ニ規定スル者ノ海軍部内ニ於ケル従前ノ所屬應ガ現業應ナル場合ノ組合事務ハ海軍航空本部ニ於テ當該應所屬組合員ニ關スル事務トシテ之ヲ處理スルモノトス

前條ニ規定スル者ノ海軍部内ニ於ケル従前ノ所屬應ガ非現業應ナル場合ノ組合事務處理ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第三條 掛金ノ徵收事務ハ之ヲ軍需省航空兵器總局ニ委託スルモノトス

附則

本達ハ昭和十九年一月三十一日ヨリ之ヲ適用ス

○正誤

昭和十九年達第百七十號中三七九頁一行目「略衣袴、略帽、裪及手袋」ハ「略衣袴及略帽」ノ誤

達

四〇五

0479

(別表)

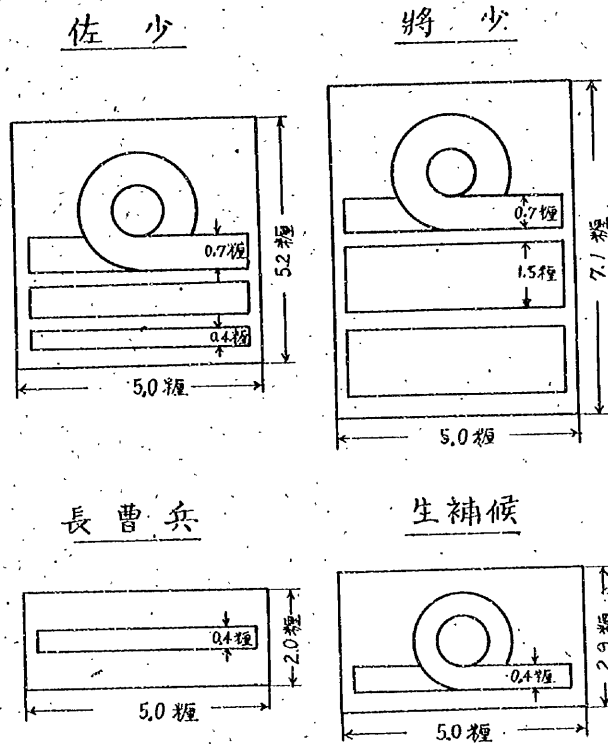
第二表 戦時手当

(昭和十九年達第百八十三號)

備考	備	職名				月	額													
		噸數	船長	機關長	一 等 運轉士															
本表ニ依リ難キ者アルトキハ所轄長ハ所屬長官ノ認許ヲ受ケ本表ノ金額以內ニ於テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得	三、五〇〇以上	一、二〇〇	一〇〇	八〇	六〇 _円	四〇 _円	四〇 _円	三〇 _円	三〇 _円	四八	三六	三〇	二〇 _円	二〇 _円	二〇 _円	二四	二〇 _円	見習員		
	二、五〇〇以上 三、五〇〇未滿	一〇〇	八〇	七二	五〇 _円	四〇 _円	三〇 _円	三〇 _円	四八	三六	三〇	二四	二〇 _円	二〇 _円	二四	二〇 _円	二四	二〇 _円	見習員	
	二、〇〇〇以上 三、〇〇〇未滿	八〇	六八	六〇	四〇 _円	三〇 _円	三〇 _円	四八	四四	三六	三〇	二四	二〇 _円	二〇 _円	二四	二〇 _円	二四	二〇 _円	見習員	
	五〇〇未滿	六〇 _円	五〇 _円	四〇 _円	四〇 _円	三〇 _円	三〇 _円	三〇 _円	三〇 _円	四〇	三〇	二四	二〇 _円	二〇 _円	二四	二〇 _円	二四	二〇 _円	見習員	

0480

附圖(例)



台地長		線ノ環ノ徑		線ノ間		線ノ長	
准士官	候補生	少尉	中尉	少佐	中佐	少將	中將
二〇	二九	三三	四二	四五	五二	六一	七一
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

(昭和十九年達第百八十四號)

0481

達第百九十一號

燃料試驗規格中左ノ通改正ス

昭和十九年六月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

航空七〇揮發油ノ規格ノ次ニ航空八〇揮發油ノ規格ヲ左ノ如ク加フ

航空八〇揮發油

左ノ外航空九一揮發油ニ同ジ

二、オクタン價(試驗法第二八號)

八〇以上

五、硫 黃(試驗法第八號乙第一法)

〇・二%以下

但シ若シ、試驗法第八號甲定性法ニ依リ其ノ存在ヲ認メザル場合ハ其ノ含有量ヲ〇・一%以下ト認メ定量ヲ省略スルコトヲ得

七、硫酸吸收量(試驗法第一四號)

六%以下

達

四〇七

0482

達第百九十二號

海軍通常物品會計規程中左ノ通改正ス

昭和十九年六月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二表通常物品出納命令官以下區分表中第六號ヲ第七號トシ以下順次繰下ゲ第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

六

電波本部

製圖工場所屬物品

總務部第三課長

※

主計科士官タル部員

達

四〇九

0483

達第百九十二號
達第百九十三號

(後送ス)

奉
寄
...

達第百九十四號

海軍軍用電報取扱規約中左ノ通改正ス

昭和十九年六月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第六條中「札幌」ヲ「小樽」ニ改ム

(諸例則卷三、六八〇ノ一頁参照)

達第百九十五號

儀制ニ關スル海軍軍樂譜別冊ノ通改正ス

別冊ハ海軍文庫ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十九年六月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

達

四一三

0484

達第百九十六號

海軍軍樂隊操式別冊ノ通改正ス

別冊ハ海軍文庫ヲシテ所要ノ向ニ之ヲ配付セシム

昭和十九年六月十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

達第百九十七號

昭和十九年度ニ於テ建造ニ着手ノ魚雷艇四十五隻ニ左ノ通命名ス

昭和十九年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳海軍工廠ニ於テ建造

自第二百十四號隼艇

(十二隻)

至第二百二十五號隼艇

佐世保海軍工廠ニ於テ建造

自第八百三十一號魚雷艇

(三隻)

至第八百三十三號魚雷艇

0485

達

自第一百一號隼艇
至第一百六號隼艇

(六隻)

三菱重工業株式會社長崎造船所ニ於テ建造

自第八百三十四號魚雷艇

(十五隻)

至第八百四十八號魚雷艇

舞鶴海軍工廠ニ於テ建造

自第五百二十九號魚雷艇

(九隻)

至第五百三十七號魚雷艇

四一五

0486

達第百九十八號

昭和十八年達第五十二號海軍病院ノ分院ヲ置ク等ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

静岡縣田方郡伊東町ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

兵庫縣武庫郡鳴尾村

吳海軍病院大阪分院

患者ノ診療、諸般ノ衛生的検査及傳染病消毒ニ關スル事項

(諸例則卷一、三三六ノ一頁參照)

達

四一七

0487